



耳原総合病院手術部では常日頃から「安心・安全」をモットーに日々手術を行っています。お気軽にご紹介ください。

11月の手術件数をご紹介します。

全身麻酔 58件
 その他麻酔(腰麻・局麻・その他) 66件

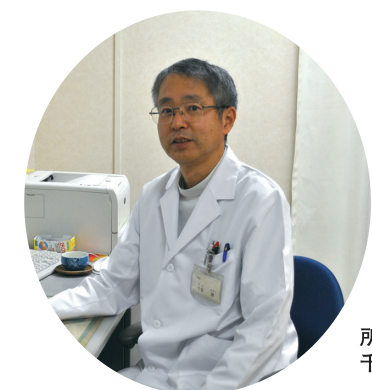
診療科	麻酔	術式	件数	診療科	麻酔	術式	件数	
外科	全身麻酔	乳腺悪性腫瘍手術	3	泌尿器科	全身麻酔	経尿道的前立腺手術(TUEB)	2	
		甲状腺手術	1			経尿道的尿管ステント留置術	2	
		胃空腸バイパス術	1			膀胱悪性腫瘍手術(TUR-BT)	2	
		腹膜炎手術	2			経尿道的前立腺手術(TUR-P)	1	
		腸管癒着症手術	1			前立腺生検	11	
		臍頭十二指腸切除術	1			両側精巣生検	1	
		小腸切除術	1			その他	2	
		十二指腸切除術	1			全身麻酔	骨折手術	2
		腹腔鏡下結腸切除術	1				人工骨頭挿入術	3
		腹腔鏡下直腸切除術	4				椎弓切除術	3
	腹腔鏡下胆嚢摘出術	7	尺骨神経前方移動術	1				
	腹腔鏡下虫垂切除術	2	四肢切断術	1				
	兎径ヘルニア手術(内、腹腔鏡下2件)	3	その他麻酔(腰麻・局麻・その他)	骨折手術	3			
	腹壁癒着ヘルニア手術	1		関節鏡下半月板切除術	1			
	閉鎖孔ヘルニア手術	1		腱鞘切開術	3			
	経肛門的直腸切除術(アルトマイヤー法)	1		その他	5			
	その他麻酔(腰麻・局麻・その他)	ヘルニア手術(兎径)	2	産婦人科	全身麻酔	子宮全摘術(内、腹腔鏡下1件)	3	
		内痔核手術	1			腹腔鏡下付属器摘出術	3	
その他		5	その他			1		
呼吸器外科	全身麻酔	胸腔鏡下肺切除術	1	その他麻酔(腰麻・局麻・その他)	帝王切開術(内、緊急3件)	8		
心臓血管外科	全身麻酔	冠動脈、大動脈バイパス移植術(人工心肺未使用)	2		子宮鏡下手術(TCR)	1		
		血管バイパス術	2		腹式卵管結紮術	1		
		血腫除去術	1	眼科	その他麻酔(腰麻・局麻・その他)	白内障手術	8	
	その他麻酔(腰麻・局麻・その他)	内シャント設置術	4		内科	その他麻酔(腰麻・局麻・その他)	早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術	4
その他	その他	1						



Hospital's Introduction かかりつけ 連携登録医院診療所紹介

かかりつけ医として地域医療をささえて 堺北診療所 さかいきたしんりょうじょ

堺北診療所は1955年に地域の有志の方々のお力により、浄念寺のお堂の一部を借りて、2坪ほどの診察室で開業しました。その後1958年に大阪府より医療生協の認可が下り、以後2度の移転を経て、2001年に現在の地に新築移転しました。2011年には組合員数が6000世帯を突破しました。



所長 千葉 博 先生

当院は設立当初より耳原病院との関係は強く、公害医療にも積極的に取り組んできました。現在は外来診療、往診、デイケア、健診、介護事業と幅広く地域の人々の健康を守る岩として医療・福祉事業を展開しています。私自身は13年前に耳原病院から異動しましたが、耳原病院に地域医療室とERが出来たおかげで、患者さんの紹介も非常にやりやすくなり、助かっています。また医師会の地域連携バスも徐々に運営開始されており、今後病院と診療所の連携は一層重要になっていくものと思います。2年後には市立堺病院が津久野に移転することが決まっており、ますます耳原病院との連携が必要になってきますので、今後ともよろしくお願いたします。

耳原総合病院 地域医療課

■「診察・入院申込書」「検査申込書」をFAXいただくか、お電話でご予約をお取りいたします。
 ※折り返しFAXにて予約票をお送り致します。

■予約当日、患者様が受診の際にご持参いただくもの
 ①保険証、②診療情報提供書、③上記予約票
 ※上記の3点をご持参いただくよう、患者様にお伝えください。

直通電話 **072-241-0324**
 直通FAX **072-241-0208**



vol.117
 ぱどあ
 (1月号)

2012年1月10日発行

■発行人/奥村 伸二 ■発行/社会医療法人 同仁会 耳原総合病院 地域医療課
 〒590-8505 大阪府堺市堺区協和町4丁465番地
TEL 072-241-0501 (代表) TEL 072-241-0324 (直通)
URL http://www.mimihara.or.jp/sogo/

耳原総合病院の基本方針は「すべての方に24時間365日、質の高い医療を地域と共に提供し続けること」です



耳原総合病院の理念
 耳原総合病院はこんな医療をめざしています

- ♥安全、安心、信頼の医療
- ♥無差別、平等の医療
- ♥患者負担の少ない医療
- ♥地域とともに歩む専門職の育成



2012年 新年のご挨拶



耳原総合病院 病院長 奥村 伸二

明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。本年も昨年同様によりしくお願い申し上げます。ご存知のように2012年春より新病院建設が始まります。地域住民の方や患者様そして医療機関の皆様には御迷惑をかけないように細心の注意を払いながら進めてまいります。何かとご不便をおかけいたしますが、改めてご理解、ご協力のほどお願い申し上げます。

昨年9月に松本前病院長からバトンを受け、あつという間に4ヶ月が過ぎました。いろいろあせるばかりで中々進まないことが多いのですが、出来るだけ元気で声を出して行こうと思っています。

昨年は、東日本大震災という未曾有の災害にみまわれた年でした。大地震と津波そして放射能被害という人類がかつて経験したことがない災害で、歴史的に見ると日本人(人類)の生き方に大きな影響をおよぼした年になったと思います。われわれのように、メディアでしか情報を知りえなかったものでも、被災された多くの方、ボランティアで汗を流された方は物質的豊かさ、便利さの対極に位置する精神的豊かさや励ましあい譲り合い分かち合いがどれほど大事かは実感されたと思います。医療分野においても高価な医療機器や薬でわからなかったことがわかったり、今まで治癒できなかった疾病でも治せるようになってきたり大きく進歩しています。その一方で、人間が本来持っている治癒力や原始的ではありますが、医療人の暖かい手のぬくもりや共感の心といったものが少しずつ後ろに追いやられてはいないか?と感じています。在院日数が極端に短くなり、色々な検査や手術・観血的処置などが増え、また一方で、要介護度の高い高齢者の入院も増加しています。現場のスタッフはゆっくり患者様の声に耳を傾けることやご家族の心配に共感しにくくなっています。診療報酬の体系がこの数10年でこのような体系に変化をもたらしたのが事実です。高価な医療機器を使用している検査や、高価な薬を使用している治療、それらに診療報酬が傾けられ、医師が患者様の話を専門的立場で聞き診察をし診断を下す様な医療行為には点数がつかず、看護師が患者様の話をゆっくり聞き患者さんのご家族の不安に寄り添っても全く収入は上がりません。必死に多くの患者様を診療し、検査・手術・観血的処置等をしてやっと赤字が出ないのが今の診療報酬体系です。聞くところによれば、医療機器メーカーや製薬メーカーは利益率が20-50%とのこと、同じ医療というもので生業をしているものの中で、このような違いが出るのはいかがなものかと感じています。

今後は出来るだけ人間の本来持っている治癒力を活性化し精神的安定やご家族の不安に応えられるような医療展開、そして心の安定を基礎にしてその個人の思いが大事にされるそれぞれの死生観に従った診療を目指して行きたいと考えています。